

「楽しいとき」のベスト・スリーとなっています。男女別にみますと、女子の場合には、「スポーツをしているとき」が男性の四七%に比べて二五%と少なく、逆に「友だちといるとき」が四七%で、男子の四一%を上回っています。そのほか女子は「マ

学校以外の時間の使い方

一日平均2時間25分テレビを見る

学校に行っている以外の時間を、子供たちはどのように使っているのでしょうか。ふだんの日の一日平均をみますと、

テレビを見る 二時間二十五分
勉強する 一時間三十六分
遊んでいる 一時間五十分
となっています。

そこで、この勉強する時間と遊ぶ時間について「もっと時間がほしいか」と聞いてみますと、

〔勉強する時間〕
もっとほしい 三二%
ほしくない 六二%
〔遊ぶ時間〕
もっとほしい 六三%
ほしくない 三三%

となっており、約六割の子供が「勉強する時間はほしくないが、遊ぶ時間がほしい」と答えています。また、学習塾やけいこごとなどの程度通っているのかといえますと、〔学習塾に通う〕

ンガの本を見ているとき」や「趣味や音楽を楽しんでいるとき」などが、男子より多くなっています。小学生と中学生の比較では、「友だちといるとき」は小学生に多く、「音楽や趣味を楽しんでいるとき」は中学生に多いのが目立ちます。

将来の暮らし方

「趣味にあつた生活」を

子供たちは、大人になったらどんな暮らしをしたいと思っっているのでしょうか。

男女とも「趣味にあつた暮らしをしたい」が最も多く、三割を占めています。次いで「金持ちでなくても清く正しく暮らしたい」(二二%)、「社会のためになるようなことをして暮らしたい」(二〇%)などとなっており、「金持ちになりたい」(七%)、「有名になりたい」(五%)は、ぐっと少なくなっています。男女別では、「いい人と結婚し

将来の職業

小学生は「野球選手」 中学生は「技術者」

子供たちは、大人になったらどんな職業につきたいと思っっているのでしょうか。

男女別にみた希望職業ベスト・ファイブは次のとおりです。
〔男子〕①野球選手七% ②会社員(サラリーマン)六% ③商店経営(家業を継ぐを含む)六% ④技術者五% ⑤公務員四%
〔女子〕①保母・幼稚園の先生一四% ②先生(小・中・高校)一

〇% ③事務員(OL)五% ③看護婦五% ③商店経営(家業を継ぐを含む)五%
ただし、学年差によってかなりのバラつきが目立つのもあります。たとえば、男子の場合、小学校五年生では圧倒的に「野球選手」ですが、中学三年生になると上位は技術者、会社員、公務員などで占められ、「野球選手」は大きく後退します。学年が上がるにつれて、

「楽しく暮らしたい」が男子五%なのに対し、女子はその四倍近い一八%と、大きな差が見えています。逆に「金持ちになりたい」では、女子が四%ですが、男子は一〇%と多くなっています。



より現実的になるためでしょう。女子の場合も、「保母・幼稚園の先生」が小学五年生では断然トップ(一七%)ですが、中学三年になると約半分(九%)に減り、変わって「事務員(OL)」が増え、両者が肩を並べるようになります。

どの子にも
愛を希望を
しあわせを

わが子への
愛を世界の
どの子にも

これは、国際児童年のスロガンですが、わたくしたちは、自分の子も、よその子も同じ「社会の一員」として接することのできる、分けへだてのない愛情を持ちたいものです。
わたしは、その手始めとして、「他人の子供も、自分の子供と同じようにしかろう」ということを提唱したいのです。
子供は、自分の子であるとともに「社会の子」であり、わたしたちも、わが子の親であると同時に「社会の親」であることを、いま一度思い起こしてみることが大切だと思います。
「社会の親」としての発想に立つとき、わたしたちは、他人の子供だからといって、無関心でいられるはずがありません。
子供に対する親の愛は、当然責任を伴います。子供たちが、社会の一員として立派に成長するよう、きちんとしたしつけをすることが大切です。
そのためにも、わたしたちは、よその子をしかる「気心」を持つことから始めようではありませんか。